

生涯学習課
仲間と共に走る、庄原の冬
第74 回庄原市スター式駅伝大会



師走の庄原を駆け抜けるランナー

児童福祉課
親子で楽しむにぎやかな一日
第22 回こどもまつり



まめうつしゲームに挑戦！



しゃぼん玉を追いかける子どもたち

社会福祉課
障害への理解を深める
障害者理解促進・啓発講演会



真剣に講演を聞く参加者

12月7日、第74回庄原市スター式駅伝大会を開催し、本年は市内外から34チーム、約250人が参加し、健脚を競いました。

大会は中学、高校、一般など7部門に分かれ、上野総合公園陸上競技場を基点に6区間、男子16キロメートル、女子15・6キロメートルのコースで行われました。

寒さが身に染みる中、ランナーは「たすき」をつなげるため、精いっぱい駆け抜けました。

沿道からは温かい声援が送られ、選手たちは力強い走りに応え、チーム一丸となってゴールを目指しました。

11月3日、国営備北丘陵公園北入口エリア里山の駅庄原ふらりで、第22回こどもまつりを開催し、約2500人が来場しました。

当日は市内の高校生による手作りかるた大会をはじめとして、パトカー・消防車・バスの乗車体験、乗馬体験など、子育てネットワークの推進を図るために参加した市内24団体が企画するさまざまなコーナーで楽しむたくさんの親子連れでにぎわいました。

また、市内の高校の吹奏楽部による演奏や健康チェックコーナーのほか、市制施行20周年記念事業として、いのうえゆき先生と、かくはまみほ先生によるリトリックコンサートも行われました。

親子で来場した人は「手作りおもちゃなど遊べるコーナーがたくさんあり、子どもたちも楽しそうにしていた。広い芝生の上で元気に体を動かして、良い一日になった」と話しました。

12月4日、庄原自治振興センターで障害者理解促進・啓発講演会を開催しました。

和田山企画代表の大橋広宣さんを講師に迎え、「個性を伸ばして生きる」―苦手は得意でカバー―と題して講演いただきました。

大橋さんは、発達障害を持ち、いじめや無理解に苦しみながらも、両親や周囲の愛情と理解で個性を伸ばし、夢を叶えた自身の体験を通して、周囲の理解や支援、個性を伸ばして認めること、一緒に考えていく大切さなどについて話しました。

参加者からは「目の前で実体験を話される姿に引き込まれた。できないことばかりに目を向けるのではなく、得意なことばかりにすることの大切さを再認識した」などの感想がありました。

市は、今後も障害の有無に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて取り組みを進めていきます。

教育指導課
心を一つに響かせて
令和7年度庄原市中学校合唱コンクール



最優秀賞を獲得した西城中学校



優秀賞を獲得した庄原中学校

11月13日、市内全7中学校が一堂に会する合唱コンクールを庄原市民会館で開催し、各学校が課題曲「ふるさと」と自由曲の2曲を披露しました。

各校の生徒が練習の成果を発揮し、心を一つにして奏でる美しいハーモニーや、歌詞に込められた意味を表現して歌おうとする姿に、会場からは大きな拍手が起こりました。

生徒は「何度も練習してどのように歌ったら良いかみんなて話し合いながら本番を迎えた。歌う前はとても緊張したが、みんなと心を一つにして歌うことができ、今までで一番良い合唱になったと思う。悔いなく精いっぱい歌えて良かった。

来場者からは「それぞれの学校がすごく練習して発表していることが伝わってきた。全力の合唱に感動した」など、生徒の一生懸命な姿に感動する声が多く寄せられました。

中学生の合唱後には、地元コーラスグループ「あんだんて」が美しい歌声を響かせ、コンクールに華を添えました。

閉会式では、生徒と来場者全員で課題曲を合唱し、コンクールの幕を閉じました。

なお、参加した3年生は、5年後の「二十歳を祝う会」で、再び心を一つにして課題曲を合唱する予定です。

市民生活課
戦後80年の今、平和の尊さについて考える
庄原市人権講演会



軽快なトークで会場を盛り上げた3人

11月22日、庄原市民会館で庄原市人権講演会を開催し、約200人が来場しました。

今回は、タレントの山田雅人さんと声優・歌手の佐久間レイさんを講師に「山田雅人・佐久間レイ『やなせたかし物語』」戦後80年に平和を考える―と題して開催しました。

「アンパンマン」の生みの親であり、自ら戦争を経験した漫画家・やなせたかしの人生や、講師の2人とのエピソードなどをお話いただき、最後はフリーアナウンサーの豊島美雪さんを交えた3人の対談で締めくくりました。

会場は和やかな雰囲気になりました。

来場者は「やなせさんとの出会いが、多くの人に平和や命について思いを巡らすきっかけになっていることに、深い感銘を受けた」と話し、生きていることや平和の尊さについて考える機会となりました。

高齢者福祉課
シルバーリハビリ体操指導士が新たに誕生
シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会



新たに誕生した指導士と記念撮影

10月1日～11月19日の間、庄原市ふれあいセンターで、第16期シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会を開催しました。

八谷市長から、8日間の全日程を修了した5人の新指導士へ修了証書を授与し、その門出を温かく祝福しました。

平成27年10月に養成講習会を開始してから、これまで合計174人の指導士が誕生しています。

新たに指導士となった5人は今後、指導士会の仲間と共に体操指導士として、地域の集まり場や体操教室などで、シルバーリハビリ体操の実践と普及啓発活動を推進していきます。